

2021年度 福井県バレーボール協会 運営方針

－ 2021年度スローガン 「 負けずに集中 」 －

福井県バレーボール協会の歴史と伝統を礎として、「福井しあわせ元気国体・大会」(2018年)で培われた力を土台に、そのレガシーを残す。また、新しい生活様式の中、「福井県スポーツまちづくり推進機構」(2020年3月発足)も活用し、本県バレーボール競技の更なる普及・発展ならびに競技力の向上を目指す。更に、協会の健全運営のために、財政安定化の検討を継続し、持続可能な財政基盤の確立を図りながら、下記の事項に取り組む。

- 1 加盟団体との連携を深め、組織の更なる充実、大会運営力の向上及び競技人口の増加を目指す。
 - (1) 「福井しあわせ元気国体・大会」で培われた大会運営力を活かし、市郡協会の3ブロック制の更なる充実を検討していく。
 - (2) 多分化してきたカテゴリーの連携・交流を促進し、それぞれが協力し合って競技人口の増加に向け、検討していく。
- 2 競技力向上のための継続した選手強化とジュニアの育成・指導体制を確立する。
 - (1) ジュニア選手から成年トップチームまでの一貫指導体制を推進し、有望選手の発掘・育成・強化、指導者及び練習会場の確保に努める。
 - (2) ビーチバレーボール(成年から少年種別へ変更2019年)が、福井国体のレガシーとして「お家芸競技」に定着するよう、競技力の向上に向けた強化体制をチームオーイングの選手達とともに発展させる。
 - (3) 全種別において国民体育大会・全国障害者スポーツ大会への出場権獲得を目指す。
 - (4) Vリーグ加盟チームの発足に向けて検討を継続する。
- 3 各種競技会の開催や北信越大会の開催成功に向けて準備・運営に取り組む。
 - ①第52回春季北信越大学バレーボール選手権大会 (5月)
 - ②オーイング杯第8回若狭おばまオープンビーチバレーボール大会 (8月)
 - ③第22回北信越高等学校新人バレーボール大会 (2月)
- 4 指導者研修会・審判研修会等を開催し、指導者・審判員の養成及び資質向上を図る。
 - (1) 指導力向上のための講習会を開催する。(指導者の派遣、中央講師の招聘)
 - (2) 審判研修会等を開催し、審判員の養成と資質向上を図る。
- 5 競技者及び役員倫理規程の遵守の徹底を図る。
 - (1) 禁止事項に該当する行為・倫理に反する行為を行うことのないよう、より一層の注意を喚起する。特に監督・コーチ等指導的立場にある者が、暴力やハラスメント行為と受け取られるような行いをすることを、厳に禁ずる。
 - (2) 禁止事項に該当する行為・倫理に反する行為が発生した場合は、手続きに従って、厳重に処分を行う。
- 6 新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じ、安全に取り組める活動と運営に努める。
 - (1) 「福井県新型コロナウイルス感染症総合対策」に従い、行動する。
 - (2) 競技活動をする場合は、JVA「バレーボール競技活動再開のための選手へのガイドライン」を基準に進める。
 - (3) 大会や講習会を開催する場合は、JVA「バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン」、「感染防止策チェックリスト」を基準に進めていく。
 - (4) 2020年度に得たノウハウを共有し、安全、安心な環境のもとに活動する。